

令和4年度 環境で地域を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

成果共有会 発表資料

活動団体の本事業への関わり

今年度より“環境整備”に取り組む	✓
昨年度から引き続き“環境整備”に取り組む	

活動団体名：荒山林業

活動地域：大町市を核とした北アルプス地域

活動におけるテーマ

かえっておいでよ、自然の中に。

森と湖に囲まれて

きゅっきゅふふすり山ノエスト2.0



活動団体および活動地域の紹介

私について

絵を描いたり工作の好きな子ども時代からデザインの道へ
ものづくりの環境への責任の重大さを感じる
木が倒れる瞬間を体感してみたいという思いから林業へ

荒山林業

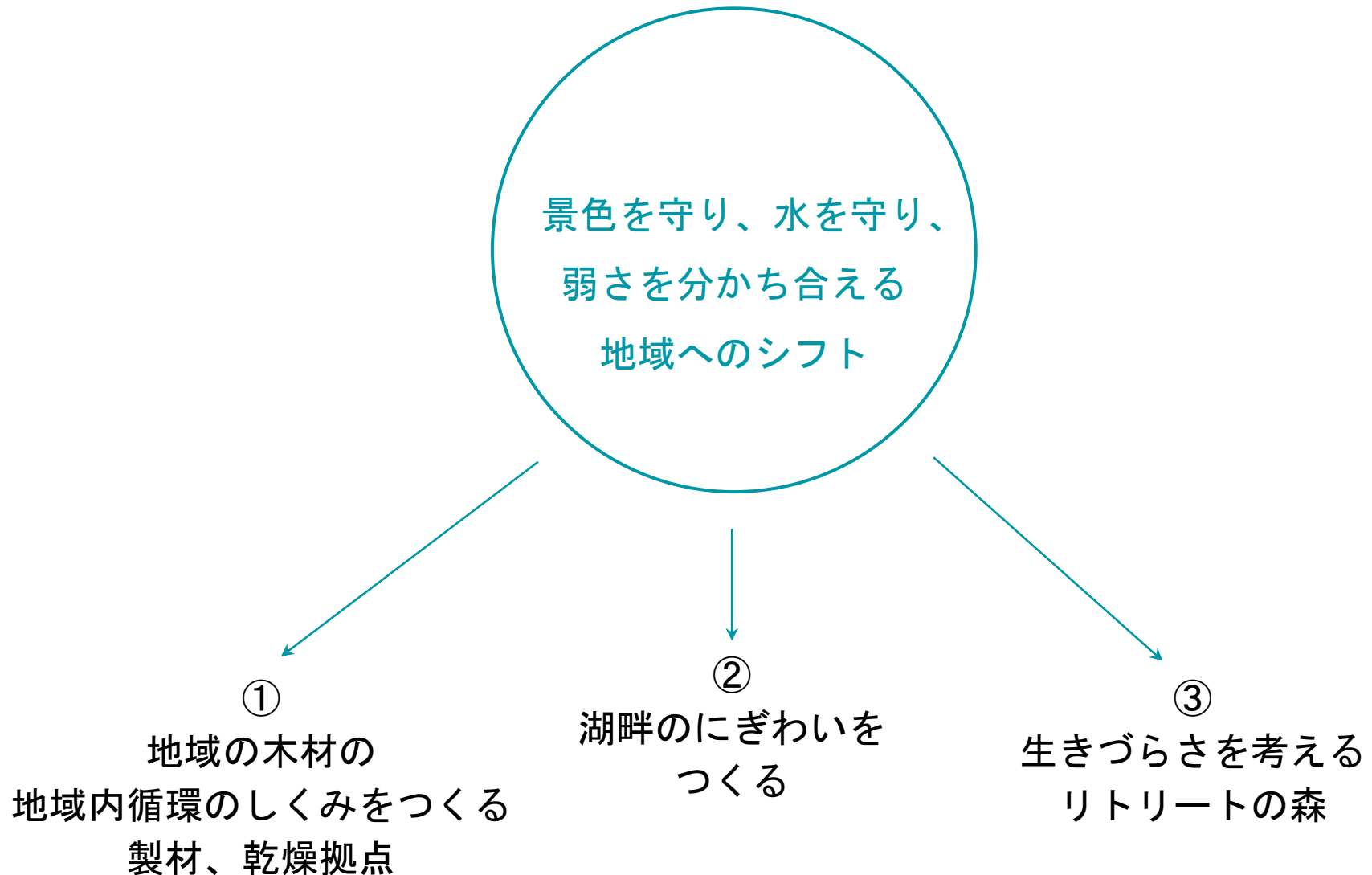
木崎湖畔の山で所有林で林業を営む自伐林家
面積の7割が落葉広葉樹
残りの3割でスギ、カラマツ、アカマツ、ヒノキの
優良材生産を目指す

大町市・北アルプス地域

長野県の北西部に位置し日本海側の内陸性気候
北アルプスの山々と良質なパウダースノーなど
豊かな自然とそれに紐づくアウトドア資源が豊富
同一市町村に湖が3つあるのは大町市だけ？



地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
事業全体の予定			全国キック オフMtg				中部ブロック 中間共有会					全国 成果共有会
実施したこと	重点的にSHヒアリング						継続的にSHヒアリング					
①地域材 流通	飛騨視察			100年生 カラマツ製材 ツアー	木材中間施設 先進地視察・ 講義	・円卓会議 ・広葉樹活用 フォーラム	トークイベン ト出演	製材マルシェ 実施！		製材乾燥研修 トークイベン ト出演	トークイベン ト出演	円卓会議 家具メーカー 視察
②湖畔の にぎわい				庭チル ごはん会	湖畔キャンプ 場 恋活サウ ナイイベントに 白樺ヴィヒタ 提供		森と湖の資源 掘り起こし会		ステーキ ホルダーMtg	→on the lake 始動！		3/4 イベント出店
										カリキュラム内容つめ		募集開始
③リトリ ート	情報収集・継続的にヒアリング、ディスカッション											
その他 事業との コラボ			国産広葉樹活 用プロジェク トプロット調 査		大町市空き家 の学校 アーバンファ ニチャー講師		国産広葉樹活 用プロジェク ト家具メーカ ー様ご来訪	伐採～製材～納品				

今年度チャレンジしたことTOP3

1. 11/27製材マルシェ開催

1. トークイベント出演

1. on the lake 始動！

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

今年度チャレンジしたことTOP3

1. 11/27製材マルシェ開催

地域材活用ステークホルダーが集まった円卓会議から生まれたイベント

これまで動いていなかった森林組合の製材機が動いて
初めての開催で700人超の方にお越しいただきました。

チラシを北アルプス地域の保育園、幼稚園、小学校に配布 チラシ制作を担当
ここにあそびに来てくれた地域他団体やプレイヤーにも
PF事業で目指していることを共有し、マッチングを図る機会ができました。

〈気づき〉

地元の木材や製材というものに興味を持っている人がこれだけいると可視化できた
ストレスは免疫力にかなり影響を及ぼす。。

→ウェルビーイングの観点からのワークシェア・適材適所の重要性



ミーティングから
生まれた
官民共同イベント！

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み



今年度チャレンジしたことTOP3

2. トークイベント出演

PF事業を始めたことで動きが活発になった成果として
視察申し込みやトークイベントへの出演依頼が増えました。

特に謝金をいただきながらトークイベントでお話しするのは
自分達にとっても初めての経験だったので、
どんなことを話すかぎりぎりまで考えていました。

イベントのおかげで自分達のPF事業についての動きを
公の場で話すことができ、積極的に広報することに
成功しました。

うち1つは主催の方が大町に来てくださるとのことで、
本来はオンラインイベントでしたが
地元のジビエのスパイスカレー屋さんをお借りして
現地でのリアル開催も企画しました（写真）。



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

今年度チャレンジしたことTOP3

3. on the lake始動

12月に大町市のお隣・白馬の断熱改修したペンション IL BOSCO（ボスコ）さんで
ステークホルダーミーティングを開催しました。

ボスコさんから断熱改修についてのお話もして貰い、
実際にあたたかさを体感しながら
いろんな意見が活発に飛び交いました。

その中から湖畔のにぎわいをつくるプラットフォームとして、
「on the lake」が始動しました。

来年度、滞在型のカリキュラムを開催する方向で
いま最終の詰めをやっていきます。





やまとわ奥田さん

奥田 悠史

株式会社やまとわ取締役 / 森林ディレクター

1988年

三重県生まれ

信州大学農学部森林科学科で年輪を研究。

大学時代、バックパッカーでの世界一周旅行へ出かける。

卒業後編集者・ライターを経て、2015年デザイン事務所を設立。

2016年

「森をつくる暮らしをつくる」を理念に掲げる

「やまとわ」の立上げに参加。

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

森と湖と、楽しく生きるために。

on the Lake

大町の森と湖をめぐる人たちがつながり、
この町で生きていく知恵と遊び心を紡ぐ、
プラットフォームづくり。

on the lake
森と湖のほり信濃大町

地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

地域のプレイヤーがつながる仕組み Laboratory on the Lake

森と湖と共に生き続けるために、今地域に必要なテーマを深掘りする場所。

地域プレイヤーと少し遠くの人にもわざわざ参加したくなるようなトークテーマ。

Lab on the Lake vol.1 (案)

地域資源でどうやる？ものづくりの話

講師：

聞き手：奥田、荒山さん

Lab on the Lake vol.2 (案)

森と湖をめぐるツーリズムのつくり方

講師：

聞き手：奥田、荒山さん

Lab on the Lake タイムスケジュール

14:00 トークスタート

15:00 質疑応答

15:30 休憩

15:40 グループセッション・WS

16:40 共有

17:00 焚き火を囲んで交流会

19:00 終了（流れて希望者は二次会へ）

Lab on the Lake の募集について

定員：30名～40名

参加費：無料

会場：森 or グランド or 屋内会場



地域のありたい未来実現のための これまでの歩み

色んな人が大町につながる仕組み Life on the Lake

森と湖のそばで暮らすって、楽しい。

自分の手を動かして生きるって気持ちがいい。

身体を使って、暮らしを面白く。

日程案：5月27日(土)-28日(日)

募集定員：12名

参加費：15,000円(税込)

講師案：ai coffeeさん、ようへいさん

Life on the Lake vol.1 -1泊2日

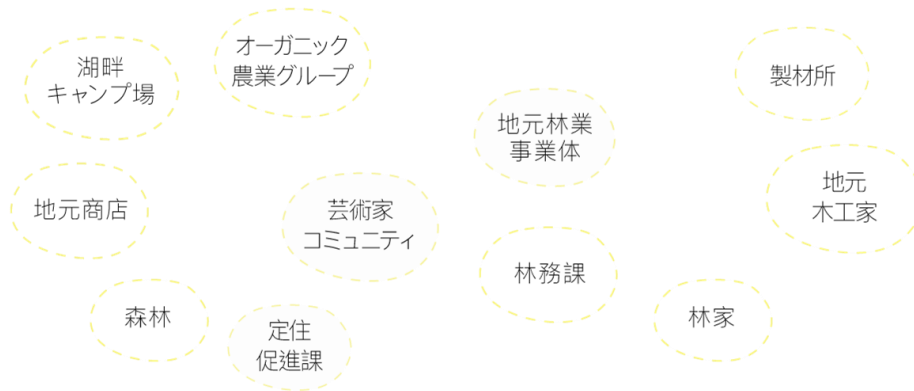
北アルプス山麓、湖畔の森と「出会う」を体験する編

- | | |
|-----|---------------------------------------|
| 1日目 | 12:40 - 大町駅集合 |
| | 13:15 - 森か湖畔でオリエンテーション |
| | 14:00 - 森を歩いて、森を知り、見る
湧き水を汲む |
| | 15:00 - 湧き水でコーヒーを淹れる
生豆の焙煎からドリップまで |
| | 16:00 - 火の付け方を学ぶ、焚き火準備 |
| | 17:00 - 森 or 湖畔で交流会、薪割り |
| | 19:30 - 終了(それぞれ宿へ) |
| 2日目 | 08:00 - 朝の湖畔を歩く |
| | 09:00 - 木崎湖でカヌー(湖の話レクチャー) |
| | 12:00 - みんなでお昼ご飯 |
| | 14:00 - 終了・解散(希望者は温泉へ) |

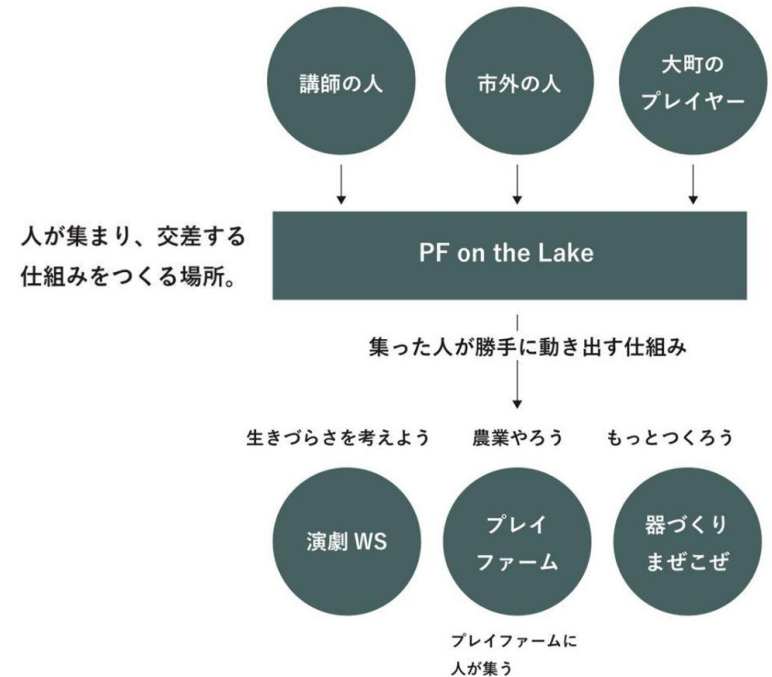


現状の地域プラットフォームと取組を通じての変化

【現状の地域プラットフォーム】



それぞれの取り組みを、何となく知っている状態



【地域プラットフォームの変化】

- ・ ありたい未来に向けてできるアクションの交通整理がされ、イメージの共有が進んだ
- ・ 当事者意識を持って動いてくれるメンバーや、協力してくれるステークホルダーが出てきた
- ・ 環境や社会面の活動をしている他団体から協業できる余地について声がかかるように

取組を通しての成果と新たに見えてきた課題

【取組全体を通しての成果】

人と人が
つながり会話が
生まれる場を
設定できた！

ありたい未来に
向けての交通
整理ができた！

足りない
リソースを
外部に依頼する
クセがついた！

【新たに見えてきた課題】

- ・ 巻き込みたい人 その人が協力してくれるには？ →どんな力点？
- ・ 事務局体制のリソースの少なさ →来年度体制整えていきたい
- ・ スピード感 →今年度行った合宿で目標達成のためのスピード感の重要性を聞いた
- ・ 資金調達 →プラットフォームから新たに派生する事業の持続性を担保するには

活動における今後の展望

これまでの歩み、成果、課題などをふまえ、今後チャレンジしたいことTOP3

1. ビジョンの具体化

森林ビジョン策定 湖畔の再開発構想との連携 lakeside woodman's club
地域材流通のためのうつわづくり（コンソーシアムなど）

1. 市との連携力強化

みずのわプロジェクト 森林ビジョン SDGs未来都市 道の駅
事業者の巻き込み

1. 資金獲得手段の検討

木材乾燥機導入 事業主体の発掘・応援

今年度よりスピードアップして結果を出す！！